

平成 20 年 9 月 1 9 日

町内会長・自治会長 殿  
署名にご協力いただいた関係者 各位

北総線の運賃値下げを実現する会  
会長 吉 田 治 男

## 「月刊千葉ニュータウン」紙の掲載文について

初秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。この度は、北総線運賃値下げの署名にご支援をいただき、ありがとうございました。

おかげさまで 107,087 筆もの署名が寄せられ、去る 8 月 26 日、実川幸夫代議士のご尽力により、谷垣国土交通大臣への面会が実現し、超党派の国会議員、県議員、地元市村長、議会議長の同行のもと、沿線住民の切実な願いを届けてまいりました。

この陳情は、多くの新聞、ケーブルTV、自治体の広報紙等によって報道されましたが、広告媒体紙の「月刊千葉ニュータウン」（9 月 13 日付）において「『?』のついた署名運動」と題し、住民の取組みを否定した記事が掲載されました。

私たちはこの記事について同紙発行元に別紙のような「質問状」を發しましたので、ご一読いただければ幸いです。

改めて申し上げるまでもありませんが、当会は平成 11 年より北総線の運賃値下げ運動に取組み、成田新高速線開通後の北総線運賃がどうなるかを行政に先立って問題提起し、関係者に情報公開を求めて研究し、シンポジウムやチラシを通じて住民の皆さまにお知らせする活動を継続して行ってまいりました。この度の署名運動は、その一環として、成田新高速線の運賃設定のタイミングを北総線の運賃値下げに向けた最大の好機と捉え全力で取り組んだものです。

運賃問題の解決に向け、住民が主体的に参加していくことはきわめて大切なことであり、そのために地元行政も署名運動に多大な後押しをしてくれたものと考えています。また、これだけの署名数であったからこそ超党派での陳情が実現したものと確信しております。

これから運賃問題の正念場を迎え、地元行政・議会はもとより、党派を越えて国会議員や県議員の皆さんに解決に向けて取り組んでいただかなくてはなりません、それを支えるのは、署名という形で表された世論です。

当会も、運賃値下げの具体的な政策提起も含め、たゆまず解決への取組みを強めていく所存です。皆さまのご理解と更なるご協力を、改めてここにお願い申し上げ、ご報告といたします。

敬具